



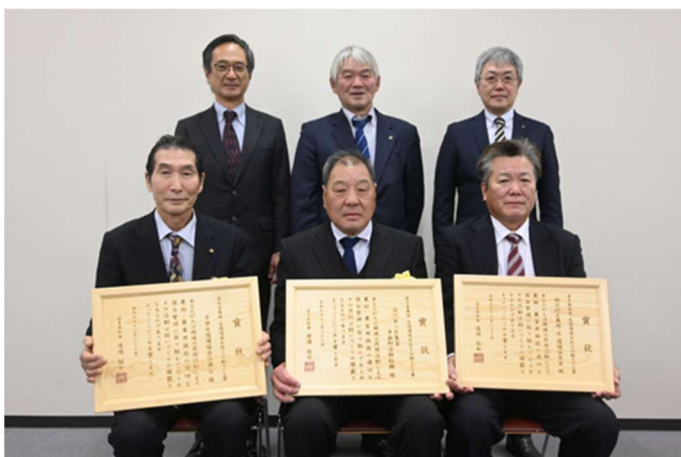
## 1 令和7年度岩手県農地・水環境保全向上活動モデル賞

令和7年12月23日（火）、いわて農林水産振興協議会及び岩手県の主催により「いわて農林水産躍進大会」が、トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）で開催されました。大会では「岩手県農地・水環境保全向上活動モデル賞」の表彰式が行われ、県内の模範となる優れた活動を行っている「寺田水環境保全協議会」（八幡平市）、「梁川第二区集落多面的活動組織」（奥州市）及び「両沢地区農地・水・環境保全会」（西和賀町）の3組織が受賞しました。（活動の状況はP.2～P.3に掲載）

### 達増拓也岩手県知事からの受賞状況



### 記念撮影



前列左から  
寺田水環境保全協議会 藤江副会長、  
梁川第二区集落多面的活動組織 佐藤代表、  
両沢地区農地・水・環境保全会 高橋代表

後列左から  
岩手県土地改良事業団体連合会 千葉専務理事、  
岩手県土地改良事業団体連合会 高橋会長、  
岩手県農林水産部 今泉農村整備担当技監

てらだみずかんきょうほぜんきょうぎかい  
**寺田水環境保全協議会（八幡平市）**

- 平成 29 年度から活動を開始し、農地 21.9ha、水路 8.9km、農道 2.8km の保全管理に取り組んでいる。
- 農業者だけでなく非農業者も参加し、水路の泥上げなどの維持管理活動を定期的に行っている。
- 景観形成に向けた花壇への植栽に取り組んでいる。
- 湿地帯を活用したビオトープの整備、生物調査及び水質調査等の取り組みを通じて、農村環境保全の普及・啓発に取り組んでいる。
- 農村環境保全について先進地研修の実施や岩手県環境アドバイザーに助言を求めるなど、活動の質的向上に取り組んでいる。



【花壇への植栽】



【ビオトープでの生物調査】

やながわだ いにくしゅうらくためんてきかつどうそしき  
**梁川第二区集落多面的活動組織（奥州市）**

- 平成 19 年度から活動を開始し、農地 52.0ha、水路 16.0km、農道 7.6km の保全管理に取り組んでいる。
- 農道周辺の草刈りなどの維持管理活動を定期的に行っている。
- 農業者の直営施工による水路の更新を実施し、経済的かつ計画的な施設の長寿命化に取り組んでいる。
- 景観形成に向けた花壇への植栽に取り組んでいる。
- 地域の小中学生を対象に、岩手県指定無形民俗文化財「金津流梁川獅子踊」の伝承活動を実施し、世代間交流やイベント参加による地域コミュニティの活性化に取り組んでいる。



【老朽化した水路の更新】



【イベントでの獅子踊の披露】

## 両沢地区農地・水・環境保全会（西和賀町）

- 平成 24 年度から活動を開始し、農地 32.3ha、水路 18.0km、農道 11.2km の保全管理に取り組んでいる。
- 農業者の直営施工による水路補修や、非農業者も参加した農道周辺の草刈りなどの維持管理活動を定期的に実施している。
- 「両沢地区まるごと公園化」をモットーに、清掃活動や植栽活動に取り組んでいる。
- 地域の小中学生と「雪あかり」の制作を通じて、世代間交流や伝統行事の継承に取り組んでいる。
- 植栽や草刈りへの参加者の約半数が女性となるなど、性別に関わらず地域活動に取り組んでいる。



【老朽化した水路の補修】



【「雪あかり」の制作】

## 2 いわて農業・農村多面的機能シンポジウムを開催 （協議会主催）

岩手県多面的機能支払推進協議会主催により、令和 7 年 11 月 5 日（水）矢巾町田園ホールにおいて「いわて農業・農村多面的機能シンポジウム」を開催し、活動組織の他、県、市町村、土地改良区等の関係者約 450 名の参加がありました。

今年度は、構成員の減少や高齢化、役員・事務局員の後継者不足などで活動の継続が困難になっている組織が増えている中、活動組織と外部組織とのマッチングについて紹介し、活動組織の広域化や事務の外部委託、多様な組織や非農業団体参画の推進をテーマとしました。

シンポジウムでは、東北農政局農村振興部農地整備課 田村成巳多面的機能企画官による「多面的機能支払活動組織の体制強化に向けた取組 ～地域の課題解決に向けて～」



【講演する田村多面的機能企画官】

「多様な人材のマッチングで地域を守る ～自分たち“だけ”で頑張らない集落活動のカタチ～」、環境学習交流センター 渋谷晃太郎代表理事による「外来生物の実情と対策」、全国水土里ネット多面的機能支払促進協議会顧問 進藤金日子参議院議員による「最近の情勢について（食料・農業・農村基本計画／日本型直接支払／国土強靱化計画／土地改良長期計画／米を取り巻く状況／R8 予算）」の講演が行われました。

### 3 令和7年度多面的機能支払交付金抽出検査 (東北農政局)

令和7年12月15日(月)～19日(金)、活動組織を対象とした東北農政局による抽出検査があり、事業計画書、活動記録や金銭出納簿に基づき、領収書や書類の整理状況、活動の内容、各種計画の策定、交付金の使途や残高に加え、研修の実施状況等、工事(直営施工含む)に係る設計書、積算書、出来形管理(現地実測確認)及び写真台帳について検査が実施されました。

検査では次の内容の指導を受けていますので、今後の事業実施の際には注意願います。

#### 【令和7年度抽出検査に係る主な指導事項】

##### ○会計事務関係

- ・ 印鑑と通帳は別々に保管すること。
- ・ 役員及び事務局については、長期間、同一人物が担当するのではなく、可能な限り交代を検討すること。
- ・ レシートは時間経過により文字が消える場合があるので、コピーして保存すること。
- ・ 日当受領の記録を残す場合、偽造防止のために、印鑑ではなく直筆のサインとすると良い。
- ・ 金銭出納簿の支払い月日は、領収書の日付とすること。
- ・ 現金払いで物品等を購入する際はポイントをつけないこと。

##### ○総会関係

- ・ 総会の欠席者に、委任状を提出させること。
- ・ 総会資料は欠席者にも配布し、議決結果を全員に周知すること。
- ・ 構成員に配布した資料や、活動組織内の合意形成に関わる資料は保管しておくこと。
- ・ 活動参加者への日当や機械リース代の単価は、規約や総会資料に盛り込むなど、毎年度周知を図ること。

##### ○資源向上支払(長寿命化)関係

- ・ 施設の更新等を行った際は、財産管理台帳への記載や施設管理者への譲与を忘れないこと。
- ・ 外部委託する場合は、契約書に金抜設計書、施工位置図を添付すること。
- ・ 工事等の見積は、見積条件を文書化して依頼し、3者以上徴収すること。



【検査の様子】



【現地実測確認の様子】

## 4 田んぼダムの取り組みについて

○「田んぼダム」（落水口に流出量を抑制する板等を設置し、水田に降った雨をゆっくりと排水）の取組によって湛水被害リスクを低減。



改正「国土強靱化基本法」に基づいた第1次国土強靱化実施中期計画において、農地・農業用施設を活用した流域治水<sup>※</sup>の取組の一つである田んぼダムの取組の推進が位置付けられました。

田んぼダムとは、大雨時に河川や水路の水位の急上昇を抑えることで、下流域の湛水被害

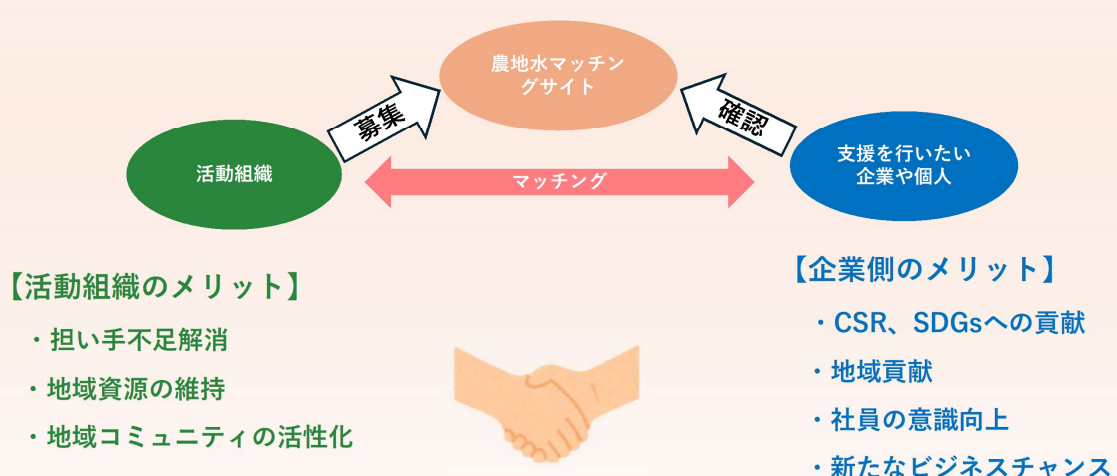
のリスクを低減させることを目的に、水田の落水口に流出量を抑制する排水調整版を設置等して雨水貯留能力を人為的に高める取組みで、一定の要件を満たして取り組む場合、資源向上支払（共同）に単価が加算されます。岩手県内では、「北上川流域治水プロジェクト」において、水害リスクを踏まえた対策として田んぼダムを検討することとしており、現在、紫波町の2組織、矢巾町の2組織、花巻市の1組織で、多面交付金を活用して田んぼダムに取り組んでいます。

※ 流域治水とは、河川管理者が行う治水対策に加え、氾濫域も含めて一つの流域としてとらえ、あらゆる関係者が協力して流域全体で水害を軽減させる取組みのことです。

## 5 活動組織と外部団体とのマッチングについて

人口減少や高齢化・後継者不足等により、活動継続が困難となっている活動組織の増加が懸念されている中、これらの課題を解決するため、協議会と全国土地改良事業団体連合会が運営する「農地水マッチングサイト」が誕生します。令和8年度早期の運用を予定しておりますので、開設の際には是非ご活用ください。

【マッチングのイメージ】



地域の「困った」を、「ありがとう」に。

## 【マッチングサイトの活用事例】

### 1. 「農道の砂利補修」で人材を募集

(仕事の内容)

農道の砂利が不足するところにスコップで砂利を補充します。

(作業時間) 13時～15時

(募集人員) 3人 (応募人数 4人)

(募集のスケジュール)

活動の1か月半前くらいに募集を掲載。2週間ほどで募集人数に達したため3人を採用。

(懸念事項) サイトで募集したところで人が集まるのだろうか。

(工夫した点) ①作業写真を掲載して状況を想像しやすいようにした。②早めの募集、採用を心掛けた。③当日は2班体制で求職者と共に作業した。



(活動組織)

人が集まるか不安だったが、マッチングがうまくいき、人が来てくれたことがよかったです。外部の方に作業に出てもらうと、組織にも刺激になるため、今後も活用したいと思いました。



(求職者)

自分でもできる仕事なので、また是非参加したいと思いました。

### 2. 「田んぼの水路の継ぎ目補修」で人材を募集

(仕事の内容)

田んぼの水路の継ぎ目補修 (マスキングテープ貼り、プライマー塗布、コーキング材注入均しなど)

(作業時間) 10時～17時

(募集人員) 3人 (応募人数 15人)

(募集のスケジュール)

活動の1か月前くらいに募集を掲載。1週間ほどで募集人数に達したため3人を採用。

(懸念事項) 共同活動とアルバイトとの意識の違い。

(工夫した点) ①応募者にしっかり対応できる体制をつくり、事務局主体のメンバーで作業を実施した。②作業場所については、トイレを借用する公共施設が見える場所を選定した。



(活動組織)

すぐに作業に慣れて、皆さん丁寧に仕上げてくださいました。



(求職者)

求職者にもいろいろな考えの人がいる。自分の都合のいい時間、興味のある仕事に応募します。水路の継ぎ目補修は初めて見る仕事内容だったため応募しました。

## 6 令和7年度水路補修研修会を開催（協議会主催）

活動組織の方々をはじめ、地方公共団体及び土地改良区の方々への情報共有と技術力向上を目指し、令和8年2月25日に、二戸市において水路補修の研修会を開催します。当日は目地補修の実演等も行います。多数の方々の参加をお待ちしております。

開催日時 令和8年2月25日（水）13:00～15:00

会場 二戸市金田ーコミュニティセンター



【他地区での実演の様子】

## 7 交付金の適正な執行について

### 1 交付金を有効に活用しましょう

活動期間満了を迎えた活動組織における持越金の返還など、毎年度、**交付金の返還が発生しています。**

次の活用例を参考に活動内容の見直し等を行い、交付金を有効に活用しましょう。また、**交付金は公金であることを意識し**、適正に管理・執行しましょう。

#### 【交付金の活用例】

- 農林水産省が公開している優良事例集などを参考に新たな取組を実施  
公開先：<https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/240527.html>
- 「田んぼダム」などの地域防災の取組に活用
- 活動参加者への日当や機械リース代単価の見直し
- 農地維持及び資源向上（共同）の活動を計画通りに実施したうえで、その残額を資源向上（長寿命化）に活用

### 2 資源向上支払（長寿命化）の必要額を正確に算定しましょう

資源向上支払（長寿命化）についても、交付金の持越金の返還が発生しています。

**限られた予算を有効に活用するため**には、活動計画書に定めた**施設の長寿命化の活動に要する費用を正確に算定する**必要があります。

次年度の要望量調査の際は、次のとおり必要額を算定し、報告してください。

#### 【資源向上支払（長寿命化）必要額の算定フロー】

活動を実施する前年度の12月頃を目途に、必要額の算定をお願いします。

- ① 次年度の実施内容の検討  
次年度に長寿命化の活動を実施する施設（数量）を検討します。  
検討に当たっては、活動計画書の年度計画や、機能診断結果等を参考にしてください。
- ② 必要額（工事費用）の算定  
①で決定した内容について、見積りの徴収や過去の工事実績により必要額を算定します。
- ③ 要望額の検討  
②が、交付上限額（交付単価×取組面積）以内となれば、その額が要望額となります。  
②が、交付上限額を超える場合は、交付上限額が要望額となります。

### 3 他事業を積極的に活用しましょう

**施設の長寿命化の活動を支援する事業を紹介しますので活用を御検討ください。**

なお、各事業の詳細については、市町村や県広域振興局の農村整備室・農村整備センターへお問い合わせください。

#### 【活動組織が事業主体となれる事業の例】

##### ① 農地耕作条件改善事業（事業費2,000千円以上）

	国	県	市町村	地元
負担割合※ (中山間地域の場合)	50% (55%)	14% (14%)	36% (31%)	

##### ② いきいき農村基盤整備事業（事業費2,000千円未満） →別紙1を参照ください。

	県	市町村	地元
負担割合※ (中山間地域の場合)	50% (55%)	50% (45%)	

※ ①及び②については、定率補助のほか、定額補助のメニューもあります。

### 4 交付金を有効に活用するためには、円滑な組織運営が重要です！

活動組織で円滑な組織運営のために守っていただきたい3つのポイントを紹介する「**円滑な組織運営のためのポイント（簡易版）**」（別紙2）を同封しますので参考にしてください。

#### 【ポイント】

- ① 構成員の合意形成をしっかり行いましょう。（総会開催、議事録作成、結果の周知）
- ② 役員が行う事務はお互いに確認し合いましょう。（複数の役員で管理・処理）
- ③ 日当は活動参加者本人に支払い、受領を確認しましょう。

## 8 交付金に係る提出書類について

### 1 令和7年度に活動期間満了を迎えた組織の方々へ

令和8年度の活動継続に向けて、**新たな事業計画を6月30日までに、市町村へ提出する必要があります。**手続きの流れ等については、別紙3をご覧ください。

### 2 令和8年度に活動期間満了を迎える組織の方々へ

令和8年度に活動期間満了を迎える組織は、「**地域資源保全管理構想**」を令和8年度内に市町村へ提出してください。（長寿命化の更新施設は財産譲与してください）

### 3 「実施状況報告書」を期日までに提出してください！

各活動組織は、令和7年度の「**実施状況報告書**」を市町村が指示する期日までに提出してください。（様式等は市町村に御確認ください）

なお、「**実施状況報告書**」の作成にあたっては、**下記に注意してください。**

#### (1) 入力関係(エクセル様式)

- ・データ入力は、オレンジ色セルのみにしてください。

#### (2) 実施状況報告書関係

- ・活動計画書で選択した項目のみ計画欄が「○」になります。
- ・活動の実施欄が「×」の場合は、備考欄に活動しなかった理由を記載してください。
- ・備考の実施日欄に日付を記載してください。
- ・次年度への持越金の金額と、金銭出納簿の次年度への持越(残高)の金額は一致します。
- ・次年度への持越金がある場合、備考欄に予定内容と予定時期を記載してください。

- 総会又は運営委員会の開催日は、当該年度内の日付を記載してください。

(3) 活動記録関係

- 総会の開催はコード番号 300 を記載してください。
- 活動計画書で選択した項目について記載してください。
- 長寿命化の工事完成確認日の備考欄に数量(延長0m 等)を記載してください。
- 外注して実施した活動(草刈りや泥上げ等)も記載してください。

(4) 金銭出納簿関係

- 支出の費目は適切に選択してください。
- 外注費については、備考欄に外注先を記載してください。
- 領収書番号欄、活動実施日欄を記載してください。
- 購入やリース費の内容が分かるように記載してください。  
(〇〇の購入、△△のリース等)

(5) 持越金の使用予定表

- 「実施状況報告書の次年度への持越金」と「金銭出納簿の次年度への持越(残高)」の金額は一致します。

(6) その他

- 長寿命化の当年度の完成数量と財産管理台帳の事業量の数値は一致します。
- 農地維持・資源向上(共同)交付金で長寿命化を実施した場合、金銭出納簿は、農地維持・共同の方に記載し、活動記録は、長寿命化の方に記載してください。



岩手県多面的機能支払推進協議会事務局（岩手県土地改良事業団体連合会内）  
〒020-0866 岩手県盛岡市本宮2-10-1 担当：桑田、金平  
【TEL 019-631-3207 FAX 019-631-3262】  
協議会ホームページ <https://www.iwatochi.com/otamagaeru-jp-vr2/>